

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		景観まちづくり			款	5	項	1	目	2	事業	5	整理番号	359		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	景観係			連絡先電話番号	3363			昨年度整理番号	369		
上位施策No・施策名		6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標			2	施策	6	計画事業	3	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区民、事業者、公共団体 杉並区の景観			内部管理		根拠 (1) 景観法									
					施設維持管理		等 (2) 都市計画法									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○景観に対する区民の意識を高め、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成します。 ○魅力あるまちなみを創出します。 ○みどり豊かな杉並のまちを歩くことにより、新しいまちの魅力を再発見し、まちに親しみを持つ人を増やします。			活動指標名(式)											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○景観条例、景観計画に基づく届出や事前協議等により、みどり豊かな美しい住宅都市を将来にわたり継承する。 ○杉並景観録の発行や景観週間を開催する。 ○杉並「まち」デザイン賞として、まちの景観に貢献している建築物等を表彰し区民の景観に対する意識を高める。 ○知る区ロードのルート上にある道標や休憩所(オアシス)の維持管理を行う。 ○まち歩きのためのある区マップを発行する。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 杉並区のまちを美しいと思う人の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	部	8,000	8,000	5,000	5,000	5,000	5,000	100.0						
	活動指標(2)	2	人	2,004	2,000	2,020	2,500	1,900	2,500	76.0						
	成果指標(1)	3	%	76.1		77.0		76.7	78.0							
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	3,739	4,442	3,722	5,656	4,149	3,792	24年度予算執行率(%)		73.4				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成24年度に「荻外荘建物調査及び耐震診断調査業務委託」を行ったため事業費増となっています。また、落差金が924千円あったため予算執行率が低下しました。						
	(内)委託費	7	千円	1,194	1,081	664	3,264	2,204	882							
	職員数	常勤職員数	8	人	4.01	4.00	4.13	3.00	3.06							4.00
		再任用職員数	9	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.01							0.00
		非常勤職員数	10	人				1.00	1.00							1.00
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	35,769	35,600	36,757	26,100	26,622							34,800
		(内)再任用職員分	12	千円	2,950	3,080	3,080	3,930	3,969							0
		(内)非常勤職員分	13	千円				2,750	2,750							2,750
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	42,458	43,122	43,559	38,436	37,490	41,342							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,307	5,390	8,712	7,687	7,498	8,268							
	財源	受益者負担分	16	千円	95	118	94	127	97							127
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0							0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0							0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	95	118	94	127	97	127							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	42,363	43,004	43,465	38,309	37,393	41,215							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 359

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		景観法に基づく行為の届出	213	件	49
		景観週間の開催	1,900	人	647
		「杉並景観録」(第18号)の発行	5,000	部	356
		「ある区マップ～荻窪北・下井草」の発行	15,000	部	859
	その他(荻外荘建物調査及び耐震診断調査業務委託ほか)				2,238
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	景観条例に基づく杉並区景観計画の運用を実施し、景観法の届出を受け付けるとともに、大規模建築物及び公共施設の整備に係る事前協議を行い、良好な景観づくりを進めています。一方、景観に関する区民の関心を高めるため、普及啓発として景観新聞の発行や景観週間を開催しシンポジウム、まちづくりの提案発表会、展示等を通して景観まちづくりの大切さを伝えてきました。また、区民がまち歩きを通してまちに関心を持ってもらえるよう、まち歩きのガイドとして杉並ある区マップ～荻窪北・下井草編を発行しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初から景観の普及啓発を主な事業として取り組んできましたが、平成21年度に景観行政団体となり、平成22年6月から杉並区景観計画の運用を開始し、景観法に基づく届出制度による景観づくりを始めました。景観は、杉並のまちに魅力を感じる指標の一つとして考えられ、区民意向調査で杉並区のまちを美しいと思う人の割合も7割を超え、着実に増加しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	開発などで失われるみどりや取り壊される歴史的建物、伐採される貴重な樹木など失われていくまちなみの保全が求められるとともに、派手な色彩の建物や機能性、経済性重視のマンションの出現から守り良好なまちなみの形成のための景観誘導が求められています。また、厳しい規制による景観の誘導より、区民、事業者が自ら景観に関心を持ち、自主的に景観づくりに取り組む風土を醸成していくことが期待されます。
	今後の予測	景観法に基づく届出制度や区が進める景観計画が建築事業者のみならず、一般区民にも広く知れわたるにつれ、区民のまちなみの美しさや景観に対する関心が高くなりそれとともに景観に対する要求も高くなってくると考えます。
評価と課題	景観計画の運用を開始後、延べ507件の届出があり、大規模建築物及び公共施設の整備に係る事前協議を95件行いました。区民にも広く景観計画が知られるようになり、積極的に景観づくりに取り組む姿勢がみられるようになりました。今後は、モデル地区における景観づくりの推進や景観重要建造物の指定及び保全制度の検討を進めるとともに、魅力的なまちなみ形成への区民の意識啓発を推進していく必要があります。また、荻外荘については施設整備だけではなく周辺の景観資源を活かしたまちづくりの検討が求められています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	景観法に基づく景観計画区域内の行為の届出制度も確実に運用され、美しいまちなみづくりに効果をあげています。今後も制度を継続していく中で、制度の抱える課題を明らかにするとともに、区民の景観に対する意識がどう変わったかを捉え、よりよい制度運用を行っていくことが必要です。また、景観計画で定めている景観協定や景観重要建造物の指定などの制度を活用し、魅力あるまちなみの保全と創出につとめ、みどり豊かな美しい住宅都市を将来へ継承していきます。		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		都市再生事業			款	5	項	1	目	1	事業	9	整理番号	363		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	都市再生担当			連絡先電話番号	3382		昨年度整理番号	363			
上位施策No・施策名		6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり			予算事業区分			既定事業		新規事業						
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	23	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実行計画事業目標		2	施策	6	計画事業	1	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		荻窪駅周辺地区			内部管理		根拠法令等		(1) 都市計画法 (2) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○杉並区が「住宅都市」としての価値をさらに高めていくためには、区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区の活性化が不可欠である。地域特性を活かした商業の活性化や生活利便性の向上などを図り、にぎわいや魅力あるまちづくりを進める。			活動指標名(式)		(1) 地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数 (2) 普及啓発活動等の回数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○「住宅都市杉並」にふさわしい荻窪駅周辺地区のまちづくりを進めるために、まちの課題等を整理・共有するとともに、地域住民との協働により、まちづくりに対する機運の醸成を図り、将来のあるべき姿を描くための検討を進める。 ○地域住民との協働により、荻窪駅周辺地区の特性を活かしたまちづくりを進めていく。 ○南北分断の解消と都市機能のさらなる強化に向けて幅広い観点から検討を行い、国や都、鉄道事業者等と協議・調整をしながら、まちづくりを進める。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		駅周辺まちづくり計画等の策定数												
		算定式・指標の説明等		平成23年度からの累計策定数												
		成果指標名(2)														
		算定式・指標の説明等														
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	回		6	8	30	36	30	120.0					
	活動指標(2)		2	回		1	2	2	8	1	400.0					
	成果指標(1)		3	件		1	0	1	0	1	0.0					
	成果指標(2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	0	7,800	5,862	16,313	14,561	13,201	24年度予算執行率(%)		89.3			
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0				特記事項 ※平成23年度からの新規事業であり、成果を出すには時間がかかります。荻窪駅周辺まちづくり基本構想等の策定数を成果指標としていますが、平成26年度までに1件の策定が目標です。					
	(内) 委託費		7	千円	0	5,887	4,988	10,427	9,686	10,262						
	職員数	常勤職員数		8	人	0.00	3.00	3.14	3.00	3.14						3.00
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						1.00
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.00						0.00
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	0	26,700	27,946	26,100	27,318						26,100
		(内) 再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0						3,930
		(内) 非常勤職員分		13	千円				0	0						0
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	34,500	33,808	42,413	41,879	43,231						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円		5,750,000	4,226,000	1,413,767	1,163,306	1,441,033						
	財源	受益者負担分		16	千円		0	0								
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0								
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0										
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	34,500	33,808	42,413	41,879	43,231							
受益者負担比率(16÷14)		22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 363

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
			10年後の駅周辺まちづくりを考える区民意見交換会	1	回	192
			これからの荻窪駅周辺のまちづくりを考えるアイデアコンペ	1	回	1,073
			荻窪まちづくり会議運営等支援業務委託(荻窪まちづくり懇談会を6回開催など)	1	件	8,700
			その他(消耗品購入等)			4,596
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>・広く区民の方々の意見を聞きながらまちづくりを進めるために、無作為抽出方式による区民意見交換会を6月に開催しました。</p> <p>・まちづくりの課題解決のアイデアを募り、今後のまちづくりを考えるヒントとするためのアイデアコンペを9月に公開で実施しました。</p> <p>・駅勢圏の住民等を対象として、意見交換や検討を行うための「荻窪まちづくり懇談会」を12月から3月まで6回開催し、意見の取りまとめを行いました。</p>					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成23年度は、これまでの荻窪駅周辺まちづくりのあり方を検証するとともに、区を中心拠点として活性化を図るためのまちづくりの方向性や事業手法等の検討を行うための「荻窪駅周辺まちづくり基礎調査」を行いました。</p> <p>平成24年度は、多くの区民から意見を頂くための区民意見交換会や荻窪まちづくり懇談会の開催、まちづくりの課題解決のヒントとするためのアイデアコンペなどを開催しました。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>鉄道や幹線道路による市街地の分断解消や、駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上、買い物や飲食の機会の一箇所集中によるまちの回遊性の不足などが挙げられる一方、良好な住環境については、維持・保全を求める声も多くあります。</p>
	今後の予測	<p>今後は、「住宅都市杉並」にふさわしい荻窪駅周辺地区のあるべき姿を描き出すため、荻窪の地域に根ざした歴史や伝統といった良いところは継承しつつ、一方で時代の変化を捉えて新しいまちづくりに挑戦するなど、地域住民や関係事業者等の声を聞きながら、幅広い観点からハード・ソフトの両施策を駆使し、まちづくりを進めることが重要です。そのために、今年度、荻窪駅周辺の住民の方々为主体となった「荻窪まちづくり会議」を設立し、まちの将来像の策定を目指します。区はその運営等を支援していきます。</p>
評価と課題	<p>平成24年度は、「無作為抽出方式による区民意見交換会」や「荻窪まちづくり懇談会」、「アイデアコンペ」などを実施し、今後のまちづくりの課題や課題解決のための多くのアイデアを頂きました。</p> <p>今後は、荻窪駅周辺住民が中心となった「荻窪まちづくり会議」を設置し、区民と協働しながらまちの将来像について検討すると共に、国や都、鉄道事業者等とも協議・調整しながら、「都市再生まちづくり」を進めていきます。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	<p>今後、荻窪駅周辺まちづくりの更なる推進を図るためには、区民との協働は不可欠です。そのためには、意見交換会や勉強会、ワークショップなど、さまざまな手法や機会を設けると共に、常に情報を発信、共有しながら進めていく必要があります。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		多心型まちづくりの推進			款	5	項	1	目	2	事業	10	整理番号	364			
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	拠点整備係			連絡先電話番号	3383		昨年度整理番号	367				
上位施策No・施策名		6 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり			予算事業区分			既定事業									
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	44	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		2	施策	6	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	区民及び駅周辺地域来訪者再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者			内部管理		施設維持管理		根拠法令等 (1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区JR荻窪駅西口バリアフリー整備事業補助金交付要綱								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○駅を中心に、まちづくりを計画的に進め、地域活性化や利便性向上を図ります。 ○民間再開発事業等を支援します。								活動指標名(式) (1) 駅周辺整備に関する相談・指導回数 (2) 駅周辺の現地調査・打合せ回数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○駅周辺の交通利便性・安全性を高めるための施設整備を推進する。 ○駅に直結する自由通路、付属するエレベーター等を維持する。 ○まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 ○助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 駅周辺整備等の事業数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 助成事業の完了箇所数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	1	回	135	150	57	100	60	100	60.0							
	活動指標(2)	2	回	54	50	52	50	54	70	108.0							
	成果指標(1)	3	箇所	3	1	1	1	1	1	100.0							
	成果指標(2)	4	箇所	2	1	1	1	1	1	100.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	251,730	2,833	2,701	10,768	7,873	126,762	24年度予算執行率(%)		73.1					
	(内)投資的経費等	6	千円	251,600	0	0	6,803	5,983	120,132	特記事項 ・平成24年度は、新規に荻窪駅西口改札内の快速線ホームのエレベーター設置事業を創出したので、予算を前年度から増額しました。 ・阿佐ヶ谷、西荻窪、方南町のまちづくりは、関係者等との調整・打ち合わせ、職員による調査・検討を行ったので、事業費の支出を抑制でき予算執行率が抑えられました。							
	(内)委託費	7	千円	0	2,567	2,504	2,114	1,635	1,582								
	職員数	常勤職員数	8	人	2.70	0.70	1.55	1.00	1.50					2.00			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0									
		非常勤職員数	10	人													
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	24,084	6,230	13,795	8,700	13,050					17,400			
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					0			
		(内)非常勤職員分	13	千円													
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	275,814	9,063	16,496	19,468	20,923	144,162								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	179,363	60,420	289,404	126,650	249,000	240,300								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0			
		国からの補助金等	17	千円	125,800	0	0	0	0					0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0					30,000			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	125,800	0	0	0	0	30,000								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	150,014	9,063	16,496	19,468	20,923	114,162								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 364

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		荻窪駅西口改札内の快速線ホームのエレベーター設置設計補助	1	件	5,720
		「国家公務員宿舎方南町住宅の跡地活用方針」作成	1	件	0
		その他(エレベーター保守管理委託、事務費ほか)	2,153		
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	JR東日本と協力し、荻窪駅西口快速線エレベーターの設計をしました。整備工事は、H25年度に行います。 西荻窪、下高井戸駅周辺地区のまちづくり活動に出席し、意見交換を通してまちづくりの検討を深めました。阿佐ヶ谷、方南町駅周辺地区の整備に向けての調査・検討を行いました。また、国家公務員宿舎方南町住宅の跡地について、地元の意向を踏まえた「国家公務員宿舎方南町住宅の跡地活用方針」を取りまとめました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	市街地再開発事業等は、個人財産に影響を及ぼすため、権利の調整が難しい事業です。経済の低迷時には事業採算も難しく、事業化に至らないものも多くあります。建物の不燃化、共同化などに様々な支援制度が創設されています。これらの複雑化した制度の活用や誘導など、適切な対応が求められています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	再開発の事業施行者からは、事業推進に向けての助成の拡充を望まれています。その一方で、近隣住民からは、再開発により、住環境が著しく変化することが予想されるため、周辺住宅地等に及ぼす影響が大きいとの意見があります。
	今後の予測	駅前周辺地区の地権者には、不燃化、耐震化の観点から建物の共同化への意識が高まりつつあります。しかし、合意形成の困難さから、事業化に踏み出せない状態にあります。地権者等の話し合いや、勉強会の実施により、自主的な共同化等の機運を高めていく必要があります。
評価と課題	JR荻窪駅では、駅のバリアフリーを進めるするため、東日本旅客鉄道株式会社が行う西口改札と快速線ホームを繋ぐエレベーターの設置を支援します。平成24年度は、計画通り設計を完了しました。また、平成25年度中に、設置工事を完了させる予定です。 西荻窪、下高井戸駅周辺地区のまちづくり活動に出席し、関係者と話し合いをもちました。阿佐ヶ谷駅周辺では、整備に向けての調査・検討を行いました。方南町駅周辺では、地域の要望を踏まえた「国家公務員宿舎方南町住宅の跡地活用方針」を取りまとめました。	

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
	II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
駅前周辺地区の安全で快適なまちづくりを実現していくには、ハード・ソフト両施策等の連携を図り、住民や鉄道事業者、地権者等と協働した取り組みを継続していくことが必要です。			